

みんなで、無農薬による
お米作りをしませんか！



2017 小江戸・初雁の里 生きもの育む 田んぼプロジェクト



主催: かわごえ里山イニシアチブ
耕福米高梨農園
協力: NPO法人民間稲作研究所

小江戸・初雁の里で楽しい農園ライフ！！

～2017 生きもの育む田んぼプロジェクト～



■「生きもの育む田んぼプロジェクト」とは

川越市の北部に位置する福田地域は、入間川をはじめいくつかの河川が合流する氾濫源。低湿地の肥沃な水田農業が盛んな、名前の通り昔から美味しいお米を産出し水運により市西部の畑作地帯の”川越いも”と共に江戸に”献上米”としても届けられていました。近年は高齢化と担い手不足から急激な農家減少で荒廃地化・環境悪化が進行しています。

私たちは生業（なりわい）としての米づくりと産業としての地域農業復活を目指します。地域（集落）、農家、非農家が協働して米づくりから地域づくりを始め、今年が2年目となります。農家及び非農家の「伝授・交流」による「作る感動」を得て、「暮らしに”農”を取り入れた日常」を実現していきましょう！そして主食のおコメから自給を始めましょう！

■ 概要

○対象圃場：初雁の里・はるみず田んぼ（以下:プロジェクト田んぼ-ビオトープ付4反）

※今年、ビオトープを新たに設置、作付面積は変更となります。

○事業内容：米生産と供給事業

参加者による農作業と高梨農園の機械作業受委託で米生産を行う。

成果物供給はプロジェクト参加会員に頒布する。

収量計画（見込み） 1443kg / 3.7反（1反6.5俵=390kg計画）

：研修会事業

栽培技術については農家ノウハウ伝授とNPO法人民間稲作研究所の「生きものを活かした有機稲作」、クラフード「生きもの調査」実地研修会を実施します。「作り知る感動」を！

■ 会員募集

○参加費：1口 13,000円（～50口にて〆切）

かわごえ里山イニシアチブ加入が条件となります(個人会員2,000円、団体会員一口5,000円)

・参加費内訳 ①農園施設入園料及び米生産の農家作業委託費用

②プロジェクト管理運営費用（資機材備品費用、通信連絡費、傷害保険料）

○募集期間：2017年2月～4月まで

○参加申込：所定用紙に必要事項を記入し、参加費を添えて申し込み。

○参加特典：1. 無農薬無化学肥料米（プロジェクト米） 25kg（玄米）

※ 頒布方法は別途ご案内いたします（配布期間10～12月予定）

2. 田んぼの農業体験はいつでも参加できます。

3. 自然体験・加工体験「生きもの観察会」「工芸品づくり」に参加できます。

4. 有機農業栽培技術を取得できます

■初雁の里・予約登録米制度

○予約登録米：プロジェクト米は限定されますが、同じ栽培基準米を耕福米高梨農園から予約登録をすることで優先的に供給いたします。年間通しての予約、贈答品・お歳暮としてもご利用ください。



★生物多様性を活かした米づくり

○活動企画

- ・参加会員は多種多様な関わり方があることから、企画全部への参加は求めています。興味のある企画及び作業に積極的にご参加ください。(田んぼ活動企画一覧)
- ・“生きもの育む栽培技術”については高梨農園・高梨耕治氏と NPO 法人民間稲作研究所・稲葉光國氏から指導・助言を頂きます。“田んぼの生きもの調査”については食楽フードを主宰する林鷹央氏に指導・助言を頂きます。自然と共生する里山づくりに奮ってご参加。
- ・参加会員の田んぼ出入りは自由。但し、事務局にその旨連絡をお願いします。
- ・農作業の他にも、里山づくりのマコモ栽培及び日本ミツバチ飼育等の活動、地域行事のご案内など地域交流企画、楽しくそして学べる企画に優先的に参加可能です。各グループで自主企画実施に当たってはご協力致します。

★プロジェクトの運営について

- 参加者：非農家者の消費者・市民は主食自給の一部となる手作りの「農」を楽しみ参加。
- 農家：田んぼ・農家施設を提供し、米づくり指導及び機械作業で参加。
- かわごえ里山：プロジェクト運営の取りまとめ・調整の役割を致します。
- ・地域農業者（高梨耕治氏、谷道輝夫氏はじめ地域農業者・サポーターズ）、非農業者（参加会員）、かわごえ里山の3者が協力して進めます。
- ・【かわごえ里山田んぼ通信】メーラー斉同報（事務局発）
 - ①【2017 農作業計画】②【〇月予定】③【速報・急なお知らせ／ご連絡】の3種類として情報を発信します。
- ・持続的なプロジェクト運営に向け、数値データ集積・分析総括を行い次年度活動に寄与することと致します。

★初雁の里「予約登録米制度 2017」実施

- 予約登録米：“小江戸初雁・耕福米「無農薬無化学肥料栽培米」(高梨農園産)。
- 予約登録米制度とは？
 1. 作付前に生産者は農法について消費者に約束・提示します。(栽培暦)
 2. 作付前に消費者は収穫後の米引取りを予約登録し、前金を添えて申し込む仕組み。
 3. 生産者は安心して栽培に励めます。生育・栽培状況は適時公開していきます。
- 予約申込：申込書に希望数量・必要事項・必要時期を記入して申してください。
- 供給価格： 精白米 500円/kg (袋代は別途)
- お渡し： 2017 年秋収穫後 (10月～) お渡し方法は別途ご案内

※初雁の里田んぼで生産されたお米の供給責任は「高梨農園」「かわごえ里山」が共に担います。生産物である米は農家所有に帰属、参加する非農業者(消費者)が購入します。

2017 生きものを育む田んぼプロジェクト

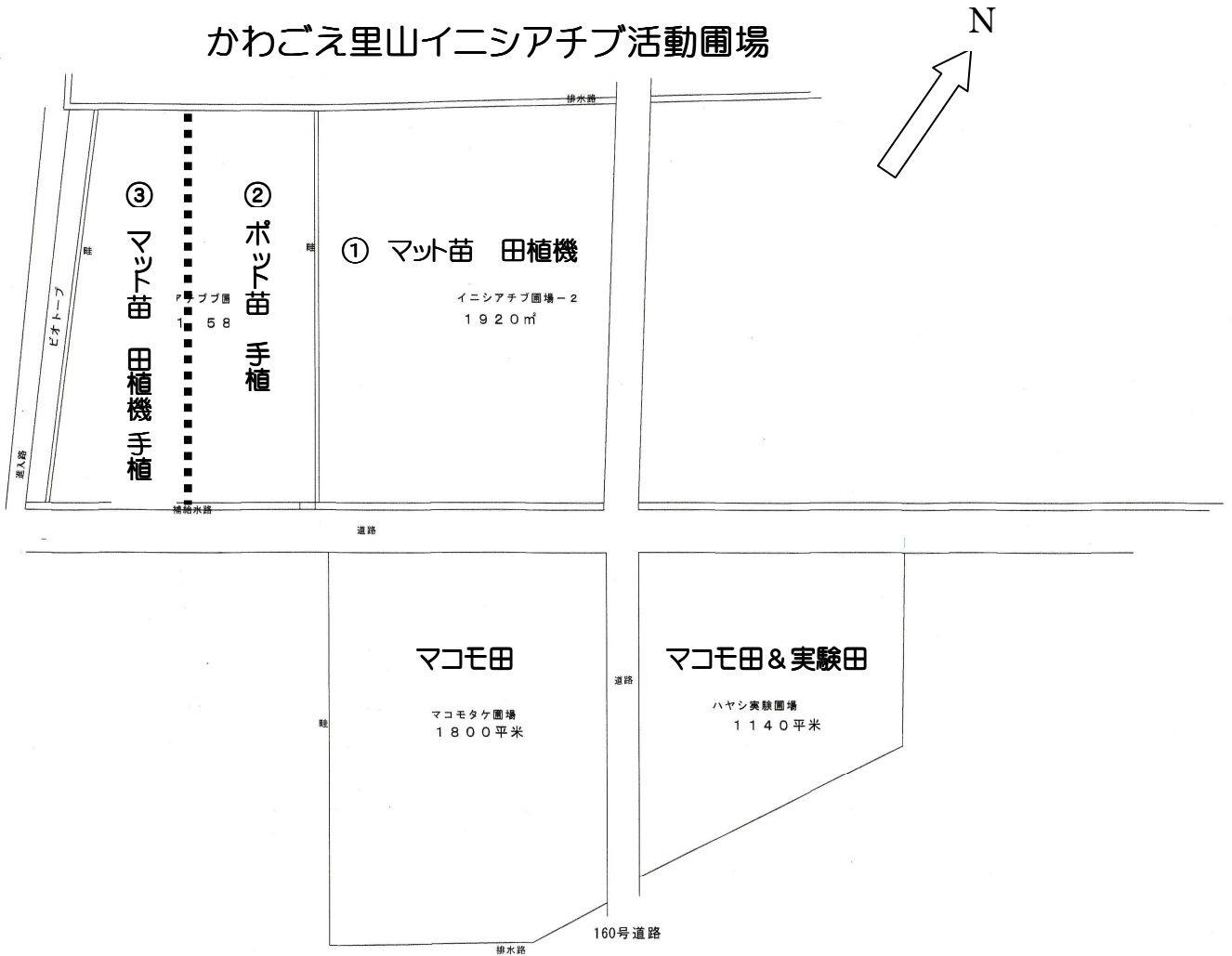
はるみず田んぼ位置図（ご案内）

- | | | |
|--------|-------------|----------|
| ① マット苗 | 田植機 | 機械作業中心圃場 |
| ② ポット苗 | 手植え | 人力作業中心圃場 |
| ③ マット苗 | 手植え or 田植え機 | 人力作業中心圃場 |

※ 苗作り場所 置き床を設置する（別途）

ポット苗用には置き床に有機培土を均等に敷きつめ、4. 5～5葉苗を作る

かわごえ里山イニシアチブ活動圃場



初雁の里

いのち育む有機稲作栽培暦（福田プロジェクト田んぼ）

平成 29 年版（コシカリ）

栽培指導：高梨農園・NPO 法人民間稲作研究所

作業項目	時期		作業内容	管理方法	水位	研修会等
	月	日				
土作り ぼ場整備	10	下旬	緑肥・耕起	クリムソクローバーの播種（0kg/反）		10/27
	1~3	上旬	圃場整備	畦塗り（高さ30センチ）・畦かさ上げ、堀さらい、温水池兼ビオトープを水口に整備（畦づくり）		
温湯殺菌処理			乾燥もみで60℃-7分間処理、冷却（地域農家の温湯殺菌器を借り共に実施）※ 塩水撰は行わない（購入種子で均一品質種子）			
中旬 下旬		浸種	浸種（15℃で10日間）			
		置床作成	代かき均平後・排水し土を固める。			
育苗	3~5	下旬	苗箱土入れ・催芽・播種・灌水・出芽・入水	播種 有機培土 2505 袋/反（マット3反、ポット1反）準備。マットの場合は 25 箱/10a、ポットの場合は 30 箱/10a。催芽 25℃で 15 時間、播種量 80 g 以下、播種機での灌水はしない。ポット苗用では置床に均一に有機培土を敷く（1 反分）。置き床に並べてから灌水。たっぶり 3 回往復。シルバーラフ被覆、1 葉期に除去後、入水。防鳥対策を行う。プール育苗。		4月22日② 播種
			土改材散布 耕起・砕土	本田の腐熟を確認し民稲研 1 号 15 kg を 2 袋・30 kg/反散布し（田植え 30 日以上前に投入）、深耕。ロータリーで砕土（2 回）		3月18日① 土壤改良・元肥
生き物の復活 と抑草	3~5	下旬	本田入水 1 回目代かき（5/10）	井戸掘りプロジェクト・ビオトープ設置 入水（4月上旬・はるみず）。入水し5センチの水位で高速回転・ゆっくり走行。1 回仕上げで代かきし、雑草の種子を表層に移動する。5cm の湛水管理を田植え時まで継続。雑草・田んぼの生き物・トトロ口層の形成	↑ ↓	堀さらい（4 / 上旬） 5/20 食べる生きもの調査
			2 回目代掻き（6/8） 田植え・深水管理	田植え3日前に植え代・水位を7cm以上にして掻き残しのないようにトラクターのタイヤで跡をつけ、ロータリーを高速回転させ、発生した雑草を浮かして除去。泥水を排水しない。土が落ち着いたのを確認して田植え（坪60株以下）、同時に民稲研 2 号 15kg を 2 袋 / 反散布。田植え直後から水位を7cm 以上に保ち20日間維持。		6月10日③ 田植え
生きもの・生育調査	6	下旬	生きもの調査	ユスリカ・イトミミズ・くも、カエル、赤とんぼ、ウンカ及び底生動物、水生昆虫等の調査 →生きもの調査（動物編）	↑ ↓	7月15日④ 6月24日生きもの調査
			茎肥	生育調査。茎肥は行わない。		
中干し	7~8	上旬	中干し	1 週間 以後は掛け流し管理 機械刈入圃場はヒビワレさせる	↑ ↓	落水、ビオトープの水は切らさない。
生きもの調査	7~8	害虫・生き物調査・生育調査	掛け流し管理、生き物・害虫調査・生育調査・実肥は行わない。			
		出穂				
刈取	9~	中旬	収穫・調整・出荷	出穂後45日を目安に刈り取り。10日前まで掛け流し管理・穂軸の青みが3分の1になった時点で収穫。		稲刈り 9/23or 9/30 収穫祭
土づくり	10	下旬	元肥散布・土づくり	コメヌカ+オカラ発酵肥料 100kg 散布。浅く耕起 ?（自家生産）		10/14
野鳥共生	11			可能ならば、ビオトープ・隣接圃場を冬期湛水に？	↓	

①冬期湛水は冬期間に水が供給される圃場で実施する。それ以外の地域ではビオトープのみ水を湛え、水田の生きものの越冬を助ける。

②畦畔の草刈は年間 4~5 回実施する。

③機械作業は、高梨農園に委託する。

④投入資材

- ・成苗有機培土 250(20 kg) 原材料：ピートモス、ゼオライト、乾燥オカラ、蒸製蹄骨粉、鹿沼土
- ・民稲研 1 号 15 kg 袋 (4.8-2.5-2.0) 原材料：屑大豆、グアノ、シリカ、オカラ（ペレット化）
- ・民稲研 2 号 15 kg 袋 (4.1-4.4-3.5) 原材料：米ぬか、オカラを混合発酵してペレット化
- ・米ヌカ、オカラ発酵肥料の秋散布・・・次年度に向けて研究課題

⑤研修会

- ・有機稲作ポイント研修会 ①3/18 ②4/22 ③6/10 ④7/15
- ・生きもの調査 5/20:植物編（食べる生きもの調査）6/24 動物編

■ 2017年度 田んぼ活動（生きもの育む田んぼプロジェクト in 耕福米高梨農園）

2017/3月

年 月 日	時間帯	参加費	内 容
3月18日(土)	10:00-16:00 (受付9:30)	会員 無料 一般 1000円	有機稲作ポイント研修・現場&座学① 午前：土づくり実践（初雁の里へ資材投入）、午後：近代化学農業の破綻と有機農業による地産地消、そして自給圏の取組へ・有機稲作における成苗育苗、水田生物の多様性を活かした抑草技術のポイント・2016生育調査報告
4月22日(土)	9:30~15:00 (受付9:00)	会員 無料 一般 300円	有機稲作ポイント研修会・現地② 午前：ポット苗の播種（半自動播種機による）、置床へ床土の均一散布とポット苗箱設置及び灌水。午後：マット苗播種と置床に設置及び灌水。水入れ・プール育苗と防鳥対策ネットの設置
5月20日(土)	10:00~15:00 (受付9:30)	小学 500円 会員・中学以上 1000円 一般 1500円	食べる生きもの調査（植物調査）と野草料理づくり 午前：プロジェクト田んぼ周辺・河原にて植物調査・採取 午後：調査まとめと採取した野草を調理して食する
6月10日(土)	10:00~16:00 (受付9:30) 10:00~12:00	会員 無料 一般 1000円 田植のみ 300円	有機稲作ポイント研修会・現場&座学③ 湿地のグリーンウェイブ参加企画（ラムネット日本） 午前：田植え実習、プロジェクト田んぼ一ポット苗・マット苗／手植え・田植え機実習 抑草ペレット投入の実際 午後（座学）：抑草ペレットの役割、生きものによる抑草と防除、生育管理と水管理
6月24日(土)	9:30-12:00 (受付9:00)	会員 無料 一般 500円	田んぼの生きもの調査（動物調査） 川越生きもの調査会-水辺の生きもの調査（田んぼ） プロジェクト田んぼ・マコモ田んぼ及び水路の生きもの調査・まとめ
7月15日(土)	10:00~16:00 (受付9:30)	会員 無料 一般 1000円	有機稲作ポイント研修会・現場&座学④ 午前：抑草効果の診断、生育診断（根と土壌の診断）、生きもの調査の実際 午後：上記3項目の結果と対策及び方法と理論
9月23日(土)	9:30-15:00 (受付9:00)	会員 無料 一般 300円	稲刈り 手刈り、コンバイン刈入れ実習
10月14日(土)	10:00-15:00 (受付9:30)	会員限定	収穫祭・・・マコモ収穫 お楽しみ企画 新米おにぎりづくりと食事・収穫物の頒布～米25kg & 予約登録米、マコモ茸・茶

有機稲作ポイント研修会及び食べる生きもの調査に会場は、圃場と川越北部地域ふれあいセンターとなります。

講師陣は高梨農園高梨耕治氏、NPO 法人民間稲作研究所（稲葉光國氏）クラフード（林鷹央氏、安田花織氏）

お問い合わせ及び申込は、かわごえ里山イニシアチブ TEL/FAX 049-234-5269, メール: kawagoesatoyama@gmail.com

受付日 2017 年 月 日

2017 年度「かわごえ里山イニシアチブ」兼、「生きもの育む田んぼプロジェクト」入会申込

入金日 月 日	<input type="checkbox"/> 新規 月 日 <input type="checkbox"/> 継続 月 日 <input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 振込
<input type="checkbox"/> 個人 (ふりがな) <input type="checkbox"/> 団体 お名前(団体名)	お名前 (生年月日 年 月 日)
ご住所	〒
電話・FAX	
メールアドレス	
かわごえ里山/年会費 田んぼプロジェクト/年会費	<input type="checkbox"/> 個人 — <input type="checkbox"/> 正会員 2000 円・ <input type="checkbox"/> 賛助会員 1000 円 <input type="checkbox"/> 団体 — <input type="checkbox"/> 1000 円 5 口以上 () 口 () 円 <input type="checkbox"/> 個人 — <input type="checkbox"/> 13,000 円 () 口 () 円
特記事項	
事務局記入欄	受付NO

★ 当会の入会及びプロジェクト参加申込は、kawagoesatoyama@gmail.com です。

★ 振込：ゆうちょ銀行から入金の場合 記号：10310 番号：21655411
名義：カワゴエサトヤマ

他金融機関から入金の場合 店名：〇三八（ゼロサンハチ）

店番：038 貯金種目：普通預金：2165541

※ お願い 適用欄口に☑と記入ください。 キリトリ

領収書 (2017 年)

かわごえ里山イニシアチブ年会費

新規 継続

発行日 月 日 NO

☆ _____ 様

金額 _____ 円

入金日 月 日 現金 振込

かわごえ里山イニシアチブ
会計担当 田崎愛知郎 印

領収書 (2017 年)

生きもの育む田んぼプロジェクト 2017

新規 継続

発行日 月 日 NO

☆ _____ 様

金額 _____ 円

入金日 月 日 現金 振込

かわごえ里山イニシアチブ
会計担当 田崎愛知郎 印